

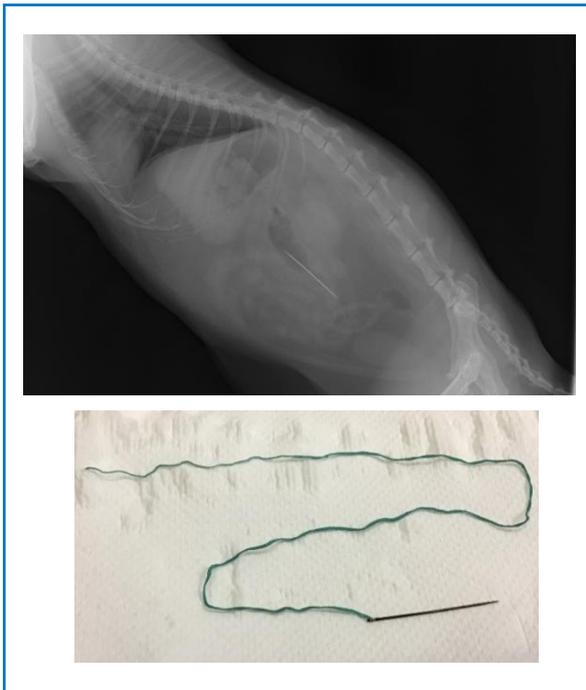
布マスクをつくる時にペットが縫い針を誤飲してしまう事故が多発！！

新型コロナウイルスの感染防止のため、ご家庭で布マスクを作成している時にペットの犬や猫が縫い針を誤飲する事故が急増しています。

異物の誤飲は消化管閉塞や穿孔などにより、開腹手術を伴うなどペットに大きな負担がかかることや、最悪の場合は死亡する恐れもあります。

沖縄県獣医師会に所属する動物病院に調査を実施したところ、4月～5月の間に布マスクの作成時にペットが縫い針等の異物を誤飲したり、針が刺さる事例が9件（犬3件、猫6件）発生していました。そのうち縫い針や糸の誤飲が7例、1例が後肢への針の刺入、1例がその他の異物の誤飲でした。治療に関しては6例が開腹手術、1例が内視鏡による摘出、1例が皮膚切開手術に至る重大な事故になっていることがわかりました。9例とも動物病院での治療により回復しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う感染防止策としてマスクの着用は重要ですが、布マスクを手作りされる場合には、近くにペットがいないことを確認して誤飲事故等につながらないように特段の配慮をお願いします。万が一、誤飲や外傷の可能性のある場合には、急ぎかかりつけの動物病院にご相談ください。



【縫い針を誤飲した猫と摘出した針】



【犬の後肢に刺入した針】